

日時：2019年7月27日（土）15:00～18:00

場所：東洋大学 白山キャンパス 6号館 4階 6404教室

出席：渡邊芳之理事長、松田英子副理事長、北村英哉、加藤 司、森津太子、向田久美子、  
中村 真

欠席：小塩真司、尾見康博

※ 第28回大会準備委員会より荒川歩委員長が準備状況報告ならびに各種打ち合わせを行うため出席（「報告事項」のみの出席）

## 日本パーソナリティ心理学会第133回常任理事会

### 報告事項

#### I 理事長挨拶

#### II 各種委員会報告

##### 1. 機関誌編集委員会（加藤委員長）

###### (1) 編集状況について

第28巻1号は予定通り7月第1週に発行され、第28巻第2号については原著4篇、ショートレポート7篇が採択されたとの報告があった。

###### (2) 審査状況

下記の表の通り、審査状況について報告があった。

月	採択	審査中	修正中	不採択	取下	投稿数
1	3	15	12	4	0	7
2	2	17	13	3	1	8
3	2	19	9	5	1	7
4	6	10	11	5	1	10
5	2	11	9	4	1	2
6	1	12	6	3	1	3
7	5	—	—	2	1	—

###### (3) 投稿・審査状況の推移

総会に向け、2012年以降の投稿・審査状況について報告があった。

加藤委員長より、2019年に入ってから不採択数が増え、早い段階でリジェクトされる論文が多くなっているとの報告があった。渡邊理事長より、質を落とすことなく年3号の発行を維持できるとよいが、雑誌が刊行されてから30年近く経っていることもあり、あらためて見直しの時期に来ているとの見解が示された。北村常任理事より、採択方針や編集方針の

共有について質問が出されたが、大まかな査読方針については、就任の際に編集委員に伝えられているとのことであった。また、国際誌への投稿が年々重視される中で、和雑誌の果たす独自の役割を考えていくべきとの問題提起がなされた。

#### (4) 早期公開に伴うページ付与について

加藤委員長より、オンライン上の早期公開に伴うページ付与について提案がなされた。早期公開時にページ付与をすることで、印刷媒体を待たずとも論文掲載ページが明らかになり、著者の業績評価に資する一方、採択された順にページ番号を割り振っていくため、印刷媒体になったときにページ番号が飛んでしまうというデメリットがあるという。国際誌の中にはそのような雑誌もあるとのことだが、会員への事前周知も必要であることから、継続検討していくことになった。

## 2. 広報委員会（松田委員長）

### (1) 委員構成と任期について

松田委員長より、委員構成と任期について報告があった。常任理事会では、各種委員会の委員の任期を年度末に移行する方針を申し合わせているが、広報委員会では、大会時に対面して新旧の引継ぎを行っている。現時点で就任している委員に任期を年度末まで延ばしてもらうことは難しいため、新規に就任する委員から順次交代時期を移行し、任期を他の委員会と揃えるようにしていくとの提案がなされ、了承された。

### (2) 優秀大会発表賞について

森常任理事より、優秀大会発表賞の経過について、以下の通り報告がなされた。

1 論文あたり 3 名の審査者が当たるよう、常任理事・理事・監事の 21 名に対し、6 月に 1 人あたり論文 17 本～18 本を送り、その中から第 2 次審査に進む論文を 1 本推薦してもらった。その結果、19 名の審査者から推薦があり、17 本が第 2 次審査に進んだ。これを受け、7 月に各論文の第 1 著者に、第 1 次審査の通過と第 2 次審査に進む場合の手続きを連絡した。このうち、現時点で、第 2 次審査に向け、ポスター原稿を提出する意向が 10 名から伝えられ（辞退者はなし）、1 名はすでにポスター原稿を提出している。この後、8 月に常任理事による 2 次審査を予定している。

続いて、2 次審査の審査方法について、意見交換がなされた。森常任理事より、常任理事の 9 名に加え、荒川大会委員長にも 2 次審査に入っていただくことが提案され、了承された。2 次審査では 10 名の審査者が 3 本の候補を選び、その結果を総合的に判断して、受賞者を決めることを申し合わせた。受賞者に対しては、森常任理事より連絡を入れ、大会 1 日目の懇親会に招待し、表彰することを確認し合った（ポスターも掲示）。次年度以降の大会発表賞のあり方についても議論され、大会参加者による発表会場での投票など、複数の案が出され、継続検討していくことになった。

## 3. 学会賞選考委員会（北村委員長）

北村委員長より、学会賞選考の経過について、以下の通り報告があった。

『パーソナリティ研究』第 27 巻 1 号～3 号掲載の原著論文、ショートレポートから 2019

年3月～5月上旬に理事から推薦を募った。推薦のあった原著論文7本の学会賞候補論文、ショートレポート7本の奨励賞候補論文に対して、学会賞選考委員5名が5月～6月にかけて、おのおの得点づけ評価を行った。学会賞候補については同点の論文が2点あったので、6月中に学会賞選考委員で決選投票を行い選考し、推薦理由も出し合った上、1本の候補が決まった奨励賞候補論文と合わせて第132回常任理事会に推薦、提案がなされ、最終選考が行われた結果、提案通り、学会賞、奨励賞各1点が決定された。

受賞論文は以下の通りである。

- ・学会賞：井川純一・中西大輔「対人援助職のグリット (Grit) とバーンアウト傾向及び社会的地位の関係——高グリット者はバーンアウトしにくいのか？」(第27巻3号)
- ・奨励賞：下司忠大・陶山 智・小塩真司・大東忠司「サディズムとスポーツにおける競技成績との関連——駆け引き上手を媒介 変数として」(第27巻3号)

例年通り、学会賞には5万円、奨励賞には3万円が第1著者に対して賞金として授与される(口座振り込みによる)。また、総会場で表彰を行うため、受賞者に事前連絡を入れるとともに、学会のメーリングリストで会員への告知を行うことを申し合わせた。

### Ⅲ 日本心理学諸学会連合(渡邊理事長)

渡邊理事長より、6月16日、東京大学で社員総会が開催されたとの報告があった。各学会に対して、公認心理師の職能団体が複数存在することに関してアンケートが来ており、理事長として、名目ともに統一すべきとの回答をした旨、報告された。

### Ⅳ 第28回大会準備状況について(荒川大会準備委員長)

荒川大会準備委員長より、大会の準備状況について、以下の通り報告があった。

順調に準備が進んでおり、現在はスタッフマニュアルの作成、受付の電子化のためのソフトウェアの開発、名札の作成を行っている。論文集の表紙に「第28回大会論文集」として印刷されてしまったので、「第28回大会発表論文集」として訂正用紙を入れる予定である。奥付と背表紙は「第28回大会発表論文集」となっているため、刷り直しはしないが、次回大会の際に間違えないよう注意してほしい。1日目の総会には予約参加した73名と当日参加を見込んで、お弁当を100個準備しており、懇親会には45名の申し込みに対して、70名分を準備している。

中村事務局長より、受付で販売される予定の昨年度の大会発表論文集に関して、未受領となっている会員がいる可能性があるため、残部を廃棄せず、問い合わせがあった場合は、事務局に伝えるよう提案がなされ、了承された。

### 審議事項

#### I 第28回理事会、第28回総会の報告資料について(中村事務局長)

第28回理事会、総会における配布資料について審議が行われ、おおむね了承された。

総会の議長は、慣例として大会準備委員長がつとめることが多いが、今回は荒川委員長が対応できないため、前もって代理を立てることを申し合わせた。また、総会場で、渡邊理

事長から、各種委員会の統廃合や任期について、経過と現状について報告することを申し合わせた。大会発表賞については、総会では途中経過を報告するのみにとどめ、受賞者の報告と表彰は懇親会で実施することを確認し合った。

中村事務局長より、学会賞、大会発表賞の賞状は各委員会で準備し、第 28 回理事会終了後に理事長印を押印する旨、伝えられた。また、総会の報告資料は、委員会ごとに A4 判 1 ページにまとめ、電子ファイルで 8 月 9 日までに送信するよう依頼がなされた。報告資料は 200 部印刷して大会会場に郵送する予定である。

## II 第 29 回大会開催校の選定について（渡邊理事長）

渡邊理事長より、複数の候補者と調整を行った結果、第 29 回大会は和光大学（東京都町田市）の高坂康雅先生に引き受けていただけることになったとの報告があった。日程は、2020 年 9 月第 1 週（平日）で調整中である。高坂先生を第 28 回理事会・大会にご招待し、学会の内容や流れをモニターしていただくよう依頼するとともに、荒川大会準備委員長、渡邊理事長、広報委員会を中心に、大会業務の引継ぎを行っていく予定である。

## III 浮谷前理事長の研究室に保管されている学会資料の移管・処分について（前回からの継続審議）

前回に引き続き、学会として費用の負担を含めて責任をもって対応し、加藤常任理事が中心となって作業を進めていくことを申し合わせた。

## IV 会員の入退会に関する件

事務局より、別紙の通り、新入会希望者 4 名、退会希望者 2 名の一覧表が示され、審議の結果、承認された。併せて、宛先不明者について報告があった。

以上の承認を受けて、2019 年 7 月 24 日現在、会員総数は 931 名である。内訳は、一般会員 693 名、院生会員 225 名、学生会員 2 名、名誉会員 8 名、賛助会員 3 名。今回審議対象の新規入会希望者 4 名は含まれない。

## V 第 132 回常任理事会議事録の件

議事録案が示され、承認された。

## VI その他

次回理事会を 8 月 27 日 15 時半より武蔵野美術大学で行うことを申し合わせた。